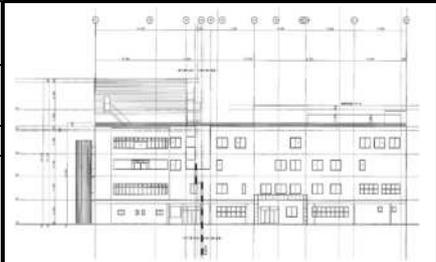


# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版, CASBEE埼玉2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)人間ハート病院 期増築工事	階数	地上6F
建設地	人間市大字小谷田字南窪1258-1外	構造	S造
用途地域	都市計画区域内(市街化調整区域)	平均居住人員	654 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2018年4月20日
敷地面積	5,064 m <sup>2</sup>	作成者	伊藤 恵
建築面積	2,441 m <sup>2</sup>	確認日	2018年4月25日
延床面積	8,979 m <sup>2</sup>	確認者	伊藤 恵



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.5** ★★☆☆☆☆

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.3

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 1.6

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 可能な限り緑地を配し、景観に配慮した。		<b>その他</b> 特に無し
<b>Q1 室内環境</b> 内装材はF を使用することで配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 電源設備の浸水による停電を回避する対策を講じた。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 適切な緑地づくりに配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 適切な機械設備を使用し、一次エネルギー消費性能を確保している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体と仕上材が容易に分別可能。	<b>LR3 敷地外環境</b> 車の駐車場は十分なスペースを確保する。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS**  
**(仮称)人間ハート病院 増築工事**

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C  
 評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>0 建築物の環境品質</b>									<b>2.5</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.40</b>		<b>-</b>		<b>2.7</b>
<b>1 音環境</b>				<b>2.6</b>	0.15	<b>2.6</b>	1.00		<b>2.6</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40		
1.2 遮音				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40		
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能				3.0	0.60	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音				<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20		
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.7</b>	0.35	<b>2.5</b>	1.00		<b>2.7</b>
2.1 室温制御				<b>2.5</b>	0.50	<b>2.1</b>	0.50		
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57		
2 外皮性能				1.0	0.25	1.0	0.43		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御				<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30		
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.6</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00		<b>2.7</b>
3.1 昼光利用				<b>1.8</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30		
1 昼光率		宿泊部分の昼光率3.58%		1.0	0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30		
1 昼光制御				3.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15		
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25		
<b>4 空気質環境</b>				<b>2.7</b>	0.25	<b>2.8</b>	1.00		<b>2.7</b>
4.1 発生源対策				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.63		
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	1.00		
4.2 換気				<b>2.0</b>	0.30	<b>2.6</b>	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		居室床面積の1/15以上の開口面積の確保		-	-	4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	1.0	0.33		
4.3 運用管理				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御				3.0	1.00	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-		<b>2.3</b>
<b>1 機能性</b>				<b>1.6</b>	0.40	<b>2.6</b>	1.00		<b>1.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>1.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60		
1 広さ・収納性				-	-	3.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	-		
3 バリアフリー計画				1.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				<b>1.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40		
1 広さ感・景観				-	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-		
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				<b>3.0</b>	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.8</b>	0.30	-	-		<b>2.8</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>2.6</b>	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				<b>2.6</b>	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20	-	-		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>2.9</b>	0.30	<b>2.5</b>	1.00	<b>2.8</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>2.8</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.50	
1 階高のゆとり			2.0	0.60	2.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		共用部分 0.1 < 壁長さ比率 = 0.206 < 0.3	4.0	0.40	2.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.5</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.5</b>	0.30	-	-	<b>2.5</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>2.2</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>1.6</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			<b>1.0</b>	0.20	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 1.11	<b>1.0</b>	0.50	-	-	<b>1.0</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	
4.1 モニタリング				-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.6</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>2.2</b>	0.20	-	-	<b>2.2</b>
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.6</b>	0.60	-	-	<b>2.6</b>
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上げ材、分別が容易な工法の採用	4.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			<b>2.2</b>	0.33	-	-	<b>2.2</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.9</b>	0.33	-	-	<b>2.9</b>
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県

# 重点項目シート

使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)人間ハート病院 期増築工事	BEE	0.5	BEEランク
------	-------------------	-----	-----	--------

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO <sub>2</sub> の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		=	4.5	
2.2	+	2.3				
重点項目の各スコアの合計点						
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上			

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO<sub>2</sub>の削減</b>		スコア平均	2.2
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	2.2
< 配慮した内容を記述 > 省エネ設備によってLCCO <sub>2</sub> の排出量を抑制する。			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	2.3
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
< 配慮した内容を記述 > 中高木を植栽し、屋上、壁面を緑化することによって暑熱環境を緩和する。			

: 入力欄